

2006年8月29日

藤沢市長 山本 捷雄殿

2006. 8. 29

ごみ有料化に反対する請願

藤沢ごみ有料化問題市民連絡会

共同代表

別紙の通り請願します。

なお、同文の請願書を市会議長あてに、39,28/名の署名を添えて
提出しています。

ごみ有料化に反対する請願

藤沢ごみ有料化問題市民連絡会

(請願内容)

ごみ有料化に反対し、有料化をやめるよう署名を添えて請願します。

(請願趣旨)

藤沢市は、6月市議会に提案を予定していたごみ有料化のための条例「改正」を見送りましたが、時期をみて市議会に提案し、早期実施をめざしています。

市の計画では、指定ごみ袋を有料化し(40リットル用袋で1枚80円)、一世帯あたり年間5千円から1万円(小規模事業者はこの約3.7倍)の負担をさせようとしています。

私たちは、次の理由でごみ有料化に反対です。

- (1) ごみ処理など清掃事業は、自治体の本来の業務で、市の財政からその財源を捻出すべきものです。ごみ有料化は、公共料金上げや庶民増税で市民負担が増える中で、税金の二重取りであり、「社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進」を定めた憲法25条に逆行するものです。
- (2) 市民と自治会・町内会などの努力で、他市に先がけて分別収集にとりくみ、市のごみ資源化・減量計画を超過達成してきました。それなのに、他市に先がけての有料化はこうした市民の努力に水をさすものです。市がおこなったアンケートや市民意見公募(パブリックコメント)でも、有料化反対が多数です。
- (3) 他市の例をみても、有料化が持続的なごみ減量に役立つことを裏づける例は見当たりません。かえって「不法投棄」が増えることが予想されます。
- (4) 戸別収集は、ごみ有料化とは別個に取り扱われるべき課題です。市の計画によれば、全世帯の半分以上を占める集合住宅が戸別収集の対象外となり、住民は有料化だけが押しつけられるという大きな不平等が生じます。また、ごみ集積所のない集合住宅(約7割)には集積所の新設が義務づけられます。
- (5) ごみ減量は、市民の努力も必要ですが、大もとの生産者の責任を追及する「拡大生産者責任」の確立こそ急務です。市は、有料化を取りやめ、市民とともに国に今こそ強く働きかけるべきです。

藤沢市議会議長 国松誠殿

2006. 8. 30



2006年8月30日

請願書の署名簿の追加について

平成18年(2006年)8月29日に提出しました

「ごみ有料化に反対する請願」について、請願書に署名簿を追加したい

(1,548名)

ので、ご承認くださるようお願いいたします。

累計40,829名

藤沢ごみ有料化問題市民連絡会
共同代表

藤沢市議会議長 国松誠 殿



2006年9月 / 日

請願書の署名簿の追加について

平成18年(2006年)8月29日に提出しました

「ごみ有料化に反対する請願」について、請願書に署名簿を追加したい
(151名)

ので、ご承認くださるようお願いいたします。

累計 40,920名

藤沢ごみ有料化問題市民連絡会
共同代表